

地方創生・まちづくり・官民連携・再エネに関わる自治体・企業の皆様、必見！

サステイナブルコミュニティ勉強会 in 三重

地域資源を活用した木質バイオマス熱電併給と地方創生

再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）導入から6年が経過し、自治体新電力の設立等、エネルギーの地産地消に向けた取組みが広がり始めています。一方、バイオマス発電の導入は太陽光と比較すると進んでいません。都市と地方の格差も加速しています。当協会は、地域間格差を解消するために、地域に豊富に存在する森・里・海などの自然資本を活用し、資源・エネルギーの自給率を上げ、地域内で循環するしくみを作り上げることが解決策の1つと考えています。再エネ・資源循環を通じたサステイナブルコミュニティ形成を、地方公共団体や地域事業者の皆様と共に実現させたいと思います。

三重県内には当協会の会員が複数おられることもあり、当協会はこの度、地域資源を活用した地方創生の手法などを一層、普及・啓発するために本勉強会を開催します。ぜひご参加ください。

対象～自治体担当者様と再エネに関心がある事業者様

- 人口減少・高齢化対策にピッタリする地域の課題解決の方法が見当たらない
- 地域の自然資本をどう活用してよいかわからない
- 再エネ活用のビジョンを策定したが、具体化や進め方がいま一つわからない
- 地元で再エネ関連事業をしたいが、提携先など進め方がよくわからない
- 官民連携でまちづくりをしたいが、進め方がわからない 等

プログラム

1 事例発表(地元の例、全国の例)

「持続可能なコミュニティづくりへ向けた地域資源の活用策ーバイオマスエネルギー利用による地方創生効果」

日本サステイナブルコミュニティ協会各社が関わる国内事例を交え、小規模自立分散型の持続可能なまちづくりのポイントを解説します。

2 質問、意見交換

事前にヒアリングさせていただき各地域の課題、未活用資源などを基に、具体的にどのような解決策が考えられるか、対話型で進めます。

3 再生可能エネルギーの地域経済効果～地域持続可能性の確保

勉強会の概要

日時／10月26日（金）14：30～18：00

定員／100名（開場 14：00）

会場／【三重県】津市アストプラザ4階 多目的ホール

〒514-0009 三重県津市羽所町700番地
 TEL 059-222-2525 JR津駅より徒歩1分、
 近隣に駐車場多数あり（有料）

参加費／**無料**

ご登壇者、講師

- (1) 三重県内自治体、企業、団体など
- (2) 日本サステイナブルコミュニティ協会 副代表理事 乾 正博

シン・エナジー(株)の代表として、地域の森林・バイオマス等の未利用資源をエネルギーとして効果的に活用し、域内の生産性と持続性を高める事業構築に精力的に取り組めます。

- 3 千葉大学法政経学部 教授、環境経済論・政策論 倉阪 秀史(くらさか ひでふみ)様

1964年三重県上野市（現：伊賀市）生まれ。1987年東京大学経済学部経済学科卒。同年4月環境庁入庁、1998年4月千葉大学法政経学部助教授、2017年4月千葉大学大学院社会科学研究院教授（現職）。『なぜ経済学は経済を救えないのか -- 資本基盤マネジメントの経済理論へ』（詩想舎）、『環境を守るほど経済は発展する』（朝日選書）、『環境政策論』（信山社）など著書多数。



FAXでお申し込みください

FAX :044-211-9930

WEBフォーム

ふりがな 貴団体名 部署名 役職

ふりがな 氏名 TEL FAX

住所 〒 E-mail

